



■発行／公益財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団

■愛媛県武道館

開館時間／午前9:00～午後9:00

休館日／毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日）  
年末年始

住所／愛媛県松山市市坪西町551番地

TEL／089-965-3111

FAX／089-965-3388

ホームページ／<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

よやく～る／<https://yoyacool.e-harp.jp/ehime>

第五十八号

TOPIX

- 1 第51回全日本空手道選手権大会に向けて（空手道）
- 2 国体とこれからの銃剣道の発展に向けて（銃剣道）
- 3 国体を終えて（相撲）
- 4 令和6年鏡開き式

空

手

道

Karate

## 第51回全日本空手道選手権大会に向けて

執筆／愛媛県空手道連盟 事務局長 井上 雄太

全日本空手道選手権大会とは、全日本空手道連盟が主催する国内最大級の大会であり、毎年12月に日本武道館などで開催されています。競技は、男女別で個人戦・団体戦の組手競技と個人形競技の計6種目が行われており、空手道の日本一が決まる大会でもあります。これまでの本県の成績は、男子個人組手競技において本田哲也選手（現、愛媛県空手道連盟競技力向上部委員長）が平成30年度大会で5位、令和元年度大会で第2位、野村駿太選手が令和2年度大会で第5位と入賞件数はまだまだ少ないですが、上位入賞者を輩出しています。

そして、今年度もこの日本一を決める伝統ある大会への出場権をかけて、先般、愛媛県武道館にて第54回愛媛県空手道選手権大会が開催され、次の通りで代表選手が決定しました。まず、男子個人組手及び男子団体組手代表として愛媛県立松山工業高校3年の西岡昊篤選手、団体組手代表として山口泰輝選手（愛媛綜警）、廣岡龍選手（天理大）、水野泰輔選手（愛媛綜警）、高橋聖汰選手の4名が選出されました。

また、女子個人組手及び女子団体組手代表として拓殖大学2年の村井樺恋選手、団体組手代表として矢野舞莉選手（九産大）、山岡加菜選手（県立今治南高）の2名が選出されました。個人戦出場者はいずれも初出場であり、男子団体組手は5名中3名が、女子団体組手は3名中2名が初出場となります。男子団体組手は、若手からベテランまでバランスが取れたメンバー構成となり、女子団体組手は若手中心の勢いのある布陣となりました。それぞれのチームの特性を生かして一戦必勝で一つでも多く勝ち上がり、上位入賞を目指したいと思います。また、特に男子個人組手に

選出された西岡選手は、令和5年度第63回空手道系東会全国選手権大会の少年男子組手の部で優勝しており、現在、県内で最も勢いのある選手です。これまでに上位入賞を果たしてきた本田選手や野村選手に続く選手として、個人・団体ともに活躍を期待したいと思います。

今年度は、12月9、10日に東京武道館及び日本武道館を舞台に全日本選手権が開催されます。ご声援よろしくお願いいたします。



▲男子出場メンバー（中央：西岡選手）



▲女子出場メンバー（中央：村井選手）

銃

剣

道

Jukendo

# 国体とこれからの銃剣道の発展に向けて

執筆／愛媛県銃剣道連盟 事務局次長 中川 颯人

マイナースポーツである銃剣道ですが、国民体育大会の正式種目になっており、隔年開催となった時期もあったものの昨年の栃木国体より、毎年開催競技に復活しました。高校生剣士にとっては唯一県予選、ブロック予選を突破しなければ出場できない大会であり、全国の高校生剣士たちは国体出場を目指して切磋琢磨しております。

さて、愛媛県の場合とは言いますと、東温高校にのみ銃剣道部があり、本校の特色の一つでもあります。執筆者である私自身が東温高校銃剣道部の顧問であり、目標は各種全国大会制覇ではありますが、やはり予選を突破しなければならない国体にはより一層制覇したいという思いが強いところです。

昨年度はコロナ禍ではありましたが、国体も開催されました。しかし、愛媛県は予選で強敵高知県に惨敗し、ブロック予選を突破することはできませんでした。それから1年間、この悔しさをバネに本校銃剣道部員はこれまで以上に厳しい練習に取り組んできました。生徒たちも厳しい練習に時には悩み苦しむ様子も見られました。また、12月、4月、7月の各種大会でも結果を残すことができず、毎回悔しい思いをしてきました。

今年の8月11日に行われたブロック予選では、香川県に圧勝し、最後に強敵高知県との試合になりました。高知県は7月の全国高校生大会でも団体戦3位入賞。個人戦においても先鋒の選手が2年生の部で3位、中堅の選手が同じく優勝、大将の選手が3年生の部で優勝している強敵です。試合の動画を何度も見返し、分析し、対策を十二分に練ってきました。結果、先鋒、中堅の選手が辛くも勝利し、2対1で団体戦に勝利し、国体への出場権を獲得しました。

国体出場は2017年の愛媛国体以来6年ぶりです。ブロック大会を突破できたのも、自衛隊の方々の指導をはじめ、多くの方々の支援をいただいたからであると確信しております。感謝の気持ちを忘れず、国体でも優勝を目指して頑張っていきたいと思えます。

さて、銃剣道全体が抱えている課題として、競技人口の少なさが挙げられます。前述のように愛媛県内に銃剣道部がある学校は東温高校一校のみ、全国でも十数校しかありません。銃剣道に対してはあまりよくないイメージを持つ人々もおります。なので、少しでも銃剣道に触れることができる機会を作ったり、高校の部活動でも結果を残して銃剣道の魅力を伝えることができるようにしていきたいと思えます。もし、興味がある方は松山駐屯地でも活動を行っております。全日本銃剣道連盟のホームページにアクセスしていただきますと、愛媛県銃剣道連盟の担当者の連絡先が記載されていますので、ぜひご連絡いただければと思います。一緒に銃剣道を頑張る国民体育大会出場を目指しませんか。



▲東温高校での練習風景



▲高知遠征、ライバルとの練習試合



▲ブロック大会 対高知戦(中堅)  
愛媛県の選手が突き技を決め、国体出場が決まった瞬間



▲全日本銃剣道連盟 八段範士による稽古の記念撮影

# 国体を終えて

執筆／宇和島東高等学校津島分校3年 相撲部 兵頭 虎太郎

相

撲

Sumou

私は小学1年生の頃から松山のクラブチームで相撲を始めました。週に2回の稽古で基礎を徹底した練習を行い、稽古がない日でも家で基礎練習や父と相撲をとり、私の相撲の礎を築いていきました。小学生の頃はさまざまな大会でライバル達に勝ち入賞・優勝し、中学では全国大会で準優勝を果たし、高校では日本一になることを目標に掲げ、毎日努力を積み重ねてきました。

そして高校生活最後の大会の「国体」で私は日本一になることを誓いました。国体前には合宿を行い、メンバーのチーム力を高め、個々の力をつけました。国体は愛媛として出場し、小学生の頃からのライバル達とチームを組むことができました。

団体予選では大会二連覇中の鳥取県と対戦し、チーム力で上回り3-2で勝つことができました。迎えた決勝トーナメント1回戦はなんと鳥取県でした。負ければ終わりのトーナメントでもう一度戦えることに運命を感じました。ここを勝てば良い流れになれると感じ予選以上に気合いを入れて、チーム愛媛として総力戦で挑み再度3-2で勝つことができました。

そして準々決勝、準決勝と勝ち進み迎えた決勝。相手は世界王者2人を筆頭とした優勝候補の和歌山県でした。個人の力を見ると力の差は開いていました。しかし、愛媛から応援してくれている人達に恩返しをしたい気持ちでチーム一丸となり、試合前に今まで以上に気合いを入れて決勝の土俵に挑みました。

先鋒戦、世界王者の相手に負け、続く二陣戦は土俵際ですぶとく粘り勝利し、中堅戦は、世界王者に勝ち流れを引き寄せ、副将戦ですっとライバルだった仲間が勝ち悲願の日本一を掴み取ることができました。

この優勝は私たちだけの力ではなく、国体に行くに当たり支援をしてくださった方々や応援してくださった方々のおかげだと思っており、ようやく結果で恩返しができると思っています。ですが私の相撲人生は続いていくので、これからも結果で恩返しをして頑張っていきます。



▲決勝戦前の愛媛チームの様子



▲決勝戦中堅(筆者)勝利の瞬間



▲表彰式の様子



▲喜びの記念撮影

# 鏡開き式

愛媛県武道館



当日先着**300名様**に  
記念品プレゼント!  
4年ぶりに餅まきを開催します。  
(餅まきは演武終了後に行います)



令和6年**1月7日**(日)

**場所** 愛媛県武道館主道場 ※申込の必要はありません。

**プログラム** 【式典】9:30 【演武】10:00~11:30 【稽古始め】12:00~13:00

**主催** (公財)愛媛県スポーツ振興事業団 / (一財)愛媛県柔道協会 / (一社)愛媛県剣道連盟  
愛媛県弓道連盟 / 愛媛県相撲連盟 / 愛媛県空手道連盟 / 愛媛県合気道連盟

愛媛県少林寺拳法連盟 / 愛媛県なぎなた連盟 / 愛媛県銃剣道連盟

**後援** 愛媛県 / 愛媛県教育委員会 / (公財)愛媛県スポーツ協会 / 愛媛新聞社  
NHK 松山放送局 / 南海放送 / テレビ愛媛 / あいテレビ

愛媛朝日テレビ / FM 愛媛 / 愛媛 CATV